



東京ガス株式会社 2007年度第1四半期決算説明会

2007年7月27日

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場、原油価格の変動ならびに天候の異変等があります。

2007 年度 第1四半期決算のポイント

■ 対前第1四半期比 増収減益

<プラス要因>

- ・ 商業用・工業用・卸供給におけるガス販売量の増加
- ・ 原料費調整制度による売上単価増

<マイナス要因>

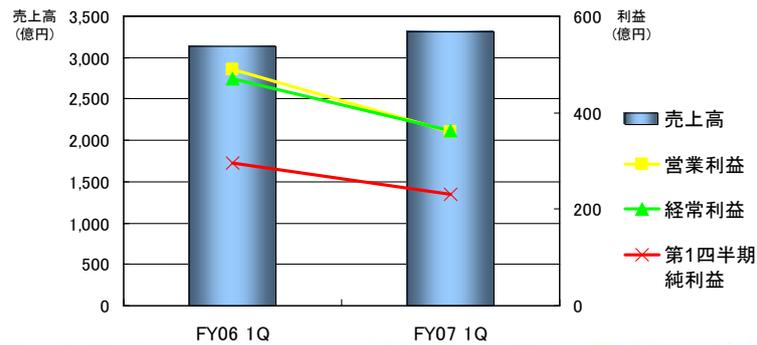
- ・ 原材料費の増加
- ・ 退職給付引当金の数理差異償却の増加
- ・ 税制改正による減価償却費の増加

本第1四半期は、商業用・工業用・卸供給におけるガス販売量の増加や原料費調整制度による売上単価の上昇があったものの、原材料費・退職給付引当金の数理差異償却・税制改正による減価償却費の増加等により、前期比で増収減益となりました。

決算総括 (対前第1四半期)

(億円未満切捨て)

	FY06 1Q	FY07 1Q	増減
売上高	3,129	3,312	+183(+5.9%)
営業利益	489	361	-128(-26.2%)
経常利益	471	362	-109(-23.0%)
第1四半期純利益	295	230	-65(-21.9%)
原油価格(\$/bbl)	64.94	64.53	-0.41
為替(円/US\$)	114.50	120.82	+6.32
気温(°C)	18.4	18.9	+0.5



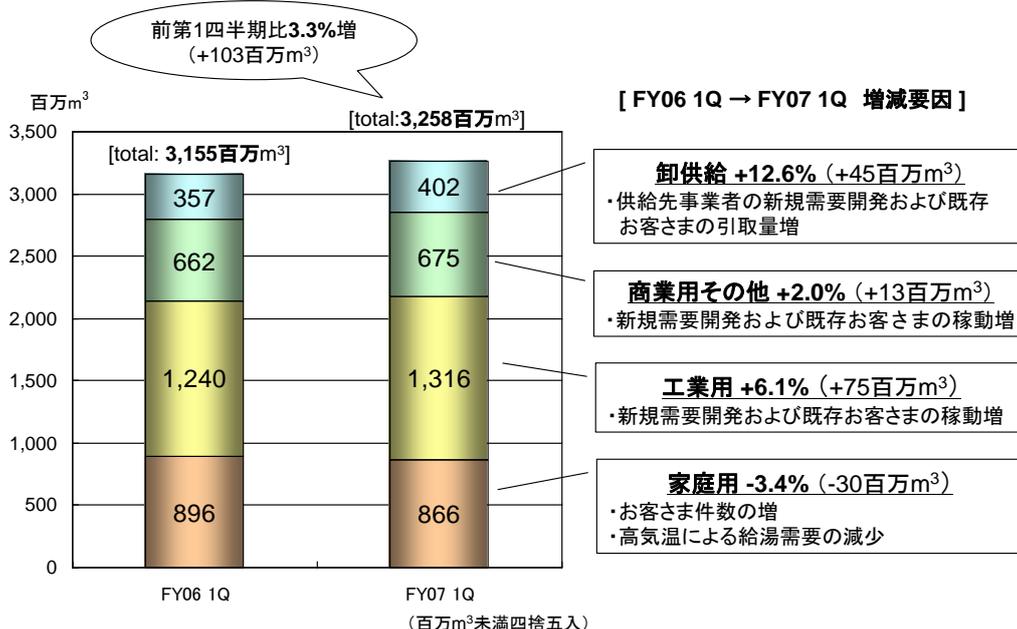
3

本第1四半期の業績は表のとおりです。

- ・売上高は前期比183億円、5.9%増の3,312億円となりました。
- ・営業利益は前期比128億円、26.2%減の361億円となりました。
- ・経常利益は前期比109億円、23.0%減の362億円となりました。
- ・四半期純利益は前期比65億円、21.9%減の230億円となりました。

3

ガス販売量実績 (対前第1四半期)



4

本第1四半期のガス販売量は前期比1億3百万m³、3.3%増の32億58百万m³となりました。これを用途別にみてみますと、

家庭用は、お客さま件数の増加があったものの、高気温による給湯需要の減少により、前期比3千万m³、3.4%減の8億66百万m³となりました。

工業用については、新規需要の開発および既存お客さまの稼働増加により、前期比75百万m³、6.1%増の13億16百万m³でした。

商業用・その他用途は、新規需要開発によるお客さま件数の増加と既存お客さまの稼働増加により、前期比13百万m³、2.0%増の6億75百万m³となりました。

卸供給については供給先事業者の新規需要開発および既存お客さまの引き取り量増加により前期比45百万m³、12.6%増の4億2百万m³となりました。

4

2007年度決算見通し(通期、対前年・計画)

(億円未満切捨て)

	FY06実績	FY07計画 (4/26時点)	FY07見通し (7/27時点)	増減	
				対前年	対計画
売上高	13,769	14,190	14,540	+771(+5.6%)	+350(+2.5%)
営業利益	1,623	1,130	1,050	-573(-35.3%)	-80(-7.1%)
経常利益	1,560	1,050	970	-590(-37.8%)	-80(-7.6%)
当期純利益	1,006	730	680	-326(-32.5%)	-50(-6.8%)
原油価格(\$/bbl)※	63.45	55.00	66.15	+2.70	+11.15
為替(円/US\$)	116.97	120.00	120.20	+3.03	+0.2

※ 7月～9月を70\$/bbl、10月～3月を65\$/bblとする

【ガス販売量 用途別】

(単位:百万m³)

	FY06実績	FY07計画 (4/26時点)	FY07見通し (7/27時点)	増減	
				対前年	対計画
家庭用	3,452	3,527	3,538	+86(2.5%)	+11(+0.3%)
工業用	5,336	5,550	5,666	+330(+6.2%)	+116(+2.1%)
商業用他	2,972	3,075	3,098	+125(4.2%)	+23(+0.7%)
卸供給	1,554	1,733	1,729	+175(11.3%)	-4(-0.2%)
合計	13,315	13,885	14,031	+716(5.4%)	+146(1.1%)

6

・売上高はガス販売量の増加などにより、350億円、2.5%増の1兆4,540億円を見込んでおります。

・一方、費用面では直近の原油価格高騰を反映し、原油価格の見通しを7月から9月は1バレル当たり70ドル、10月から3月は65ドルとし、通期の見通しを66.15ドルに変更しました。その結果、原材料費が増加し、収支を圧迫しますが、さらなる固定費の削減などに努めることで、収支の悪化を極力食い止め、営業利益は、80億円、7.1%減の1,050億円を見込んでおります。

・また、経常利益は80億円、7.6%減の970億円、当期純利益は50億円、6.8%減の680億円を見込んでおります。

・なお、為替レートについても第1四半期の実績を反映し、年度見通しを1ドル120.20円に変更しております。

6